

強制抑留の実態調査等に関する補足資料

平成30年7月27日

シベリア抑留者問題とは

概要

- 昭和20年8月9日以来の旧ソ連軍の侵攻により、旧日本軍人等が旧ソ連地域またはモンゴル人民共和国(当時)の地域で強制抑留された。
- 抑留者は、極寒の地で、長期間にわたり、劣悪な環境のもと、多大な苦難を強いられ、その間、過酷な強制労働に従事させられた。

※抑留された者 約575,000人(うちモンゴル 約14,000人)
うち死亡したと認められる者 約 55,000人(うちモンゴル 約 2,000人)

抑留中死亡者特定のための照合調査方法

ロシア側資料

➢H3～死亡者名簿、個人資料、登録カード 等

- ① ロシア側から提供された複数の資料により同一人物と思われる資料を抽出。
- ② 日本側資料より上記①に対応する特定候補者の資料を抽出。
- ③ 特定候補者について、ロシア側資料及び日本側資料に記載されている個人情報(氏名、住所、生年月日、所属部隊、死亡年月日、死亡場所、死因等)を調査票に記入する。



解析・照合

日本側資料

- 陸海軍人事資料(留守名簿、履歴原表 等)
- ソ連関係資料(ソ連関係死亡者索引簿、地区別死亡者名簿、死亡処理済者名票 等) 等

- ① 調査票に記入された、ロシア側資料及び日本側資料の個人情報(氏名、住所、生年月日、所属部隊、死亡年月日、死亡場所、死因等)の内容確認。
- ② さらに、部隊行動、武装解除後の作業大隊の編成及び入「ソ」後の収容所に至るまでの経緯を調査し、個人の身元を総合的に判定。

特定



特定件数
(平成30年3月末現在)
旧ソ連 38,639人
モンゴル 1,429人

御遺族へ お知らせ



お知らせ件数
(平成30年3月末現在)
旧ソ連 36,589人
モンゴル 1,322人

遺骨収集事業の流れ

情報収集

- ①資料調査
・ロシア公文書館等から取得した埋葬地関係資料を調査
- ②現地調査
・埋葬地特定のための調査
- ③抑留経験者等からの情報提供

遺骨収集計画の策定

- ①相手国政府等と調整
- ②遺骨収集実施計画の策定

遺骨収集

- ①遺骨収容作業
- ②人種鑑定
・我が国の戦没者の遺骨であることを確認
- ③遺骨の日本への送還
※特定埋葬地数:230箇所
うち、遺骨収容済み埋葬地:206箇所
(平成30年3月末現在)
※収容遺骨数:21,778柱
(平成30年3月末現在)

埋葬地関係資料から、戦没者をある程度特定できる場合はDNA鑑定を実施

遺骨の伝達

遺族への引渡し

納骨

千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納骨

戦没者遺骨のDNA鑑定について

DNA鑑定の取組

- 平成15年度から、戦没者の遺骨を関係遺族へお返しするため、埋葬地関係資料や記名等のある遺留品等を手掛かりに関係遺族を推定できる場合、希望する遺族に対して国費により身元特定のためのDNA鑑定を実施している。
- 現在、DNA鑑定の専門家で構成される「戦没者遺骨のDNA鑑定人会議」において、戦没者遺骨と関係遺族に係る個別のDNA鑑定を行っている。

DNA鑑定の実績と検体の特殊性

- 平成15年度以降、約8,000検体についてDNA抽出作業を実施。遺族が判明し、遺族にお渡しした遺骨は1,094柱、そのうち旧ソ連地域の遺骨の数は1,081柱、南方地域等の遺骨の数は13柱となっている。(平成30年3月末現在)

慰霊巡拝

趣旨

- 昭和51年度から、遺族の要望にこたえるため、旧主要戦域等で、戦没者の慰霊を目的として慰霊巡拝を行っている。
なお、沈没した艦船等の戦没者に対しては、適宜船舶を使用して洋上での慰霊を実施している。

実施状況

※直近5年度、旧ソ連地域のみ

(平成30年3月末時点)

年度	地域	参加者
平成25	クラスノヤルスク地方、アルタイ地方、ハバロフスク地方、沿海地方	41
平成26	アムール州、ハバロフスク地方、沿海地方、カザフスタン共和国	36
平成27	ザバイカル地方、イルクーツク州、ハバロフスク地方・ユダヤ自治州、沿海地方、ウズベキスタン共和国	57
平成28	イルクーツク州、ハバロフスク地方、沿海地方	37
平成29	ハバロフスク地方、イルクーツク州、クラスノヤルスク地方、沿海地方	32

戦没者慰霊碑の建立

戦没者慰霊碑の建立

- 旧主要戦域ごとに中心となるべき地域1か所を選び、戦没者の慰霊と平和への思いをこめて戦没者慰霊碑を建立している(15カ所※)。
※ 硫黄島、インド、インドネシア、マレーシア、マーシャル諸島、モンゴル、ミャンマー、パラオ、フィリピン、パプアニューギニア(2)、ロシア(ハバロフスク、サハリン)、アメリカ(サイパン島、アラスカ州アッツ島)
- また、既に建立した慰霊碑については、維持管理が適切に行われるよう相手国関係機関等と維持管理に関する契約を締結している。

旧ソ連抑留中死亡者の小規模慰霊碑の建立

- 平成12年度以降、旧ソ連邦の地域で、無償による用地の提供及び慰霊碑の維持管理を地方政府(州、地方、共和国など)が将来的に無償で担うことが約束された地域に小規模慰霊碑を建立し、地方政府で管理を行っている(15カ所)。

旧ソ連抑留中死亡者の小規模慰霊碑の建立状況

No	地 域	建 立 地	竣工年月
1	タタールスタン共和国	ロシア連邦タタールスタン共和国エラブガ市	平12.9
2	クラスノヤルスク地方	ロシア連邦クラスノヤルスク地方クラスノヤルスク市	平12.9
3	ハカシア共和国	ロシア連邦ハカシア共和国チェルノゴルスク市	平13.9
4	スベルドロフスク州	ロシア連邦スベルドロフスク州ニージニタギール市	平13.9
5	ウズベキスタン共和国	ウズベキスタン共和国タシケント市	平15.9
6	ケメロボ州	ロシア連邦ケメロボ州ケメロボ市	平18.10
7	ノボシビルスク州	ロシア連邦ノボシビルスク州ノボシビルスク市	平19.12
8	アルタイ地方	ロシア連邦アルタイ地方ビースク市	平19.12
9	オレンブルグ州	ロシア連邦オレンブルグ州オレンブルグ市	平20.9
10	ジョージア	ジョージア トビリシ市	平22.3
11	沿海地方	ロシア連邦沿海地方アルチョム市	平22.11
12	アムール州	ロシア連邦アムール州ベロゴルスク地区ワシリエフカ村	平24.11
13	ザバイカル地方	ロシア連邦ザバイカル地方チタ市	平25.7
14	タンボフ州	ロシア連邦タンボフ州ノーヴァヤ・リヤダ町	平29.3
15	イルクーツク州	ロシア連邦イルクーツク州イルクーツク市	平29.8